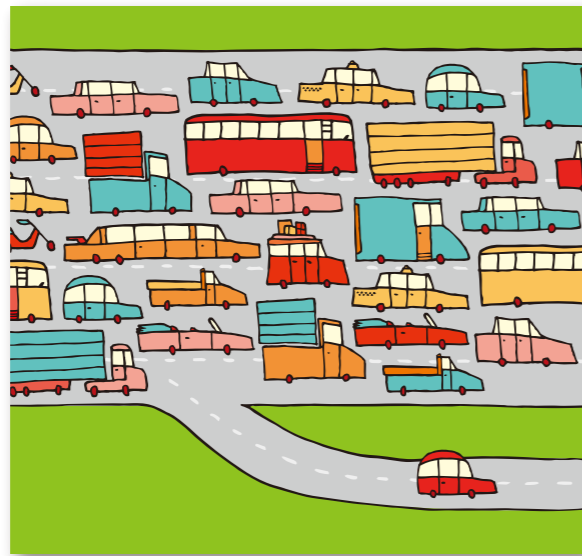


例年7月、8月の夏休み時期は、高速道路などで大渋滞が起きています。円滑な物流を確保するためには、渋滞を少しでも避けた道路の利用が欠かせません。また、「道路を借りて走っている」プロドライバーとしては、渋滞のメカニズムを知り、渋滞緩和に向けた運転を心がけることも大切です。

そこで今回は、渋滞のメカニズムおよび渋滞緩和につながる運転のコツ、最新の交通情報収集のポイントについて紹介していきます。



渋滞は「上り坂およびサグ部※」で発生

渋滞とは、どのような状態を指すのでしょうか？ NEXCO東日本/中日本/西日本が管理する高速道路では、時速40km以下で低速走行、あるいは停止・発進を繰り返す車列が、1km以上かつ15分以上継続した状態を渋滞と定めています。

また、高速道路における主な渋滞原因は、「交通集中渋滞」「工事渋滞」「事故渋滞」の3つ。このうち「交通集中渋滞」は、全国における全渋滞の約7割を占めています。そして、クルマが集中する、つまり渋滞する個所で最も多かったのは「上り坂およびサグ部」

であり、続いて「接続道路からの渋滞」「インターチェンジ」「トンネル部」でした。

※ サグとは、下り坂から上り坂にさしかかる凹部。

高速道路における主な渋滞原因

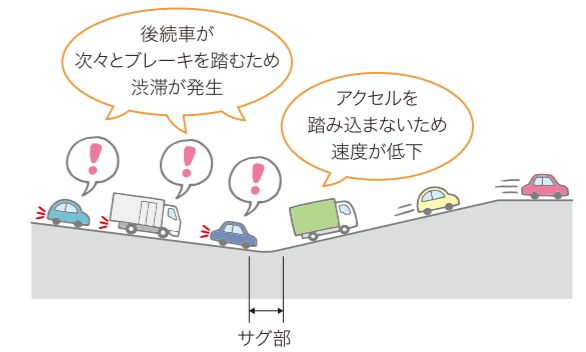
1. 「交通集中渋滞」 交通容量以上に交通が集中することで発生
2. 「工事渋滞」 工事の規制に伴って発生
3. 「事故渋滞」 交通事故によって発生

渋滞のメカニズムを知る

荷物の到着遅延や事故を誘発しかねない渋滞には、もちろん原因があります。「上り坂およびサグ部」をはじめ、その他どのような場所で渋滞が発生するのか、そしてそのメカニズムについてみていきましょう。

渋滞原因① 上り坂およびサグ部

下り坂から上り坂に変わる部分を「サグ部」と呼びます。このような場所では、上り坂になってもその変化に気がつきにくく、アクセルを踏み込まないまま速度が低下。後続車との車間距離が縮まります。すると後続車は次々にブレーキを踏むことになり、車列がどんどん後ろに伸びて渋滞が発生します。



渋滞原因② 接続道路からの渋滞

インターチェンジの先に接続する道路からの影響を受け、本線が渋滞になることがあります。例えば、一般道との接続地点に信号がある場合、インターチェンジから出る車が多くなると、青信号の間に一般道に出られない車の列ができます。これが徐々に長くなり、本線まで伸びて渋滞が発生します。

渋滞原因③ インターチェンジ合流部

インターチェンジ合流部では、車が流入してきます。その際、本線を走行している車が、流入車を入れるため減速し、前車との車間距離をとります。すると後続車は車間距離を一定に保つため、詰まった車間距離を広げようと先行車よりもさらに減速。これが連鎖的に続くことで渋滞が発生します。

出典：NEXCO西日本「渋滞原因解説」

一人ひとりの心がけが渋滞緩和に

ドライバーの皆さんが渋滞のメカニズムを知り、マナーを守った運転をすることで渋滞緩和につながります。メカニズムでも紹介したとおり、サグ部では無意識に減速してしまい渋滞の一因となっていますので、**スピードメーターを確認しながら速度をキープ**しましょう。また、少しでも早く目的地に着こうと、追い越し車線に車両が集中すると車間距離が縮まり、ブレーキの連鎖で渋滞が追い越し車線から発生します。渋滞緩和のため、**走行車線を基本に走りましょう。**

そして、出発前に日本道路交通情報センターや

NEXCOのホームページなどで、「**渋滞情報**」を確認しておくことも欠かせません。また走行中も、道路情報板やラジオなどで渋滞情報を把握し、刻々と変化する道路状況に柔軟に対応しながら目的地を目指しましょう。

渋滞でイライラしながら運転すると、無理な運転や急な割り込みなどをしがちなうえ、事故を引き起こす可能性も十分考えられます。渋滞メカニズムを知り、プロドライバーとして模範となる運転で緩和につなげていきましょう。

渋滞情報はこちらでCheck!

公益財団法人 日本道路交通情報センター「道路交通情報NOW」

<http://www.jartic.or.jp/> 最新の道路交通情報を5分おきにお知らせします。

日本道路交通情報センター

NEXCO東日本「ドラぶら E-NEXCOドライブプラザ」

<http://www.driveplaza.com/> リアルタイムの渋滞・規制情報から今後の規制予定、渋滞予測情報などを提供。

ドラぶら